

富山市教育委員会会議録

令和3年9月定例会

1 日 時 令和3年9月30日(木曜日)

午後 1時30分 開会

午後 3時20分 閉会

2 場 所 Toyama Sakura ビル5階 大会議室

3 出席委員 教 育 長 宮 口 克 志  
委 員 若 林 啓 介  
委 員 藤 井 久 丈  
委 員 尾 畑 納 子  
委 員 高 田 健

4 説明のために出席した者

事務局長	金 山 靖
事務局理事(学校再編担当)	舟 崎 文 彦
事務局次長(総務・社会教育担当)	山 本 貴 俊
事務局次長(学校教育担当)	大久保 秀 俊
教育総務課長	石 黒 健 一
学校再編推進課長	関 谷 雄 一
学校施設課長	井 上 剛 秀
学校教育課長	竹 脇 孝 志
学校保健課長	宮 前 仁
生涯学習主幹(課長代理)	伊 藤 宗 司
教育センター所長	川 端 紀代美
大沢野教育行政センター所長	片 山 尚 之
大山教育行政センター所長	山 下 浩 一
図書館長	高 嶋 善 秀
郷土博物館長	坂 森 幹 浩
埋蔵文化財センター所長	堀 沢 祐 一

5 職務のため会議に出席した事務局職員

教育総務課長代理(管理係長)	余 川 毅
教育総務課主査	宮 森 知 佳

6 傍聴人数 0人

7 付議案件

(1) 議 案

議案第40号	富山市教育委員会会議規則の一部改正について
議案第41号	富山市大山堅穴住居跡展示館条例施行規則の廃止及び富山市教育委員会行政組織規則の一部改正について
議案第42号	富山市立図書館協議会委員の委嘱について

(2) 報告事項

報告事項26	9月市議会定例会における質問の概要について
報告事項27	富山市通学区域審議会への諮問について
報告事項28	市立小・中学校再編原案について
報告事項29	「令和3年度全国学力・学習状況調査」の結果について

(3) その他

その他17	子ども・学校・TOYAMAの未来創生フォーラムのオンライン開催について
その他18	富山市猪谷関所館企画展「佐々成政 さらさら越え 飛騨ルート!？」
その他19	富山市郷土博物館特別展「佐々成政の手紙—古文書から浮かび上がる戦国時代」
その他20	富山市佐藤記念美術館特別展「岸駒と岸派の絵画—岸駒の後援者 木津家伝来の文物を中心に」

8 会議の要旨

【開会】

[教育長] 開会を宣言する。

本日は、委員全員が出席しているため、会議は成立している。

**【前回会議録について】**

- [教育長] 8月教育委員会定例会会議録について意見等を求める。  
[各委員] (意見なし)  
[教育長] 意見なしのため、前回会議録は承認された。

**【非公開案件について】**

- [教育長] 議案第42号は、附属機関の委員の委嘱に関する案件である。また、報告事項28は、通学区域審議会への諮問前であり、公開することにより今後の事業の執行に支障をきたすおそれがある案件である。よって、非公開としたいが、よろしいか。  
[各委員] 異議なし。  
[教育長] 承認を得られたので、議案第42号、報告事項28については非公開とし、その他20の後に行うこととする。

**【議案第40号】**

- [教育長] 議案第40号について事務局から説明を求める。  
[教育総務課長] (議案第40号について説明)  
[教育長] ただ今の件について、質問等あるか。  
[各委員] 質問等なし。  
[教育長] 採決を行う。議案第40号について、異議があるか。  
[各委員] 異議なし。  
[教育長] 異議なしと認める。よって議案第40号については原案どおり可決した。

**【議案第41号】**

- [教育長] 議案第41号について事務局から説明を求める。  
[大山教育行政センター所長] (議案第41号について説明)

- [埋蔵文化財センター所長] 補足説明をする。富山市大山堅穴住居跡展示館の堅穴住居跡の取り扱いについてだが、これは東黒牧上野遺跡から本物の堅穴住居跡を移設したものであり、すでに切り取る前に記録保存は行っている。本展示館は大山地域公共施設複合化事業に含まれており、展示館はこの事業に伴い廃止することとなる。しかし、遺跡から切り取った堅穴住居跡は現状を維持するために、砂等を利用し地中に保存し、後世に残していくことができるように企画管理部と現在協議をしている。現在においては適切な措置であると考えている。
- [教育長] ただ今の件について、質問等あるか。
- [尾畑委員] 地中保存をするということだが、どこに、どのようにして行うのか。
- [埋蔵文化財センター所長] 現在ある場所の地下に保存する。
- [尾畑委員] もともとあった場所は、現在は整備されて森林になっている。そこには看板だけ立っており、どこにあったかという情報が一切わからない。
- [埋蔵文化財センター所長] 国際大学のグラウンドに沿って県が東黒牧上野遺跡の発掘調査を行った。その道路の箇所が東黒牧上野遺跡に該当する。発掘調査の際に縄文遺跡が6棟見つかри、そのうちの1棟を大山に移設した。もともとあった場所に戻すのではなく、地中保存できるように企画管理部と協議を進めていく。
- [尾畑委員] 地中に埋めるということは、今後二度と見れなくなるのか。
- [埋蔵文化財センター所長] 未定であるが、地中保存する方向性で進めていきたい。
- [尾畑委員] 無くさないようお願いしたい。
- [教育長] 採決を行う。議案第41号について、異議があるか。
- [各委員] 異議なし。
- [教育長] 異議なしと認める。よって議案第41号については原案どおり可決した。

## 【報告事項26】

- [教育長] 報告事項26について事務局から説明を求める。
- [教育総務課長] (報告事項26について説明)
- [教育長] ただ今の件について、質問等あるか。
- [各委員] 質問等なし。

## 【報告事項 27】

- [教育長] 報告事項 27 について事務局から説明を求める。  
[学校再編推進課長] (報告事項 27 について説明)  
[教育長] ただ今の件について、質問等あるか。  
[各委員] 質問等なし。

## 【報告事項 29】

- [教育長] 報告事項 29 について事務局から説明を求める。  
[学校教育課長] (報告事項 29 について説明)  
[教育長] ただ今の件について、質問等あるか。  
[若林委員] 非認知能力とはなにか。  
[学校教育課長] 非認知能力とは、幼児期後半からの自分で決定したことを実行する力や、成功体験や失敗体験を積み重ね、仲間と共同的に活動することを通して育っていく力のことを指す。学力のように点数化し計ることができない、人としての力のことである。また、周りの子どもたちとコミュニケーションをとる力や、友達とトラブルになった時に自分から相手を思いやって折り合いをつけていく力も非認知能力であり、幼少期から培う力として重視している。  
[教育長] 数値として表すことができるものを認知能力、表すことができないものを非認知能力という。難しい問題にぶつかったときに、初めから諦めず、最後まで粘り強く取り組む力を、認知能力をつけることと並行して培うことが、子どもたちの学力や運動能力をつけるうえで重要である。  
[尾畑委員] 問題解決的な学習の充実と非認知能力の育成について、今回、記述式の問題に弱いということがはっきりした。長文を読み込む力やそれを表現する力が弱いということである。家庭学習が少ないことから、その充実を指導の重点に置くことはわかるが、問題解決的な学習の充実と非認知能力の育成を重点に置くことについては、どの調査結果から結びつけたのか。また、良い結果が出た学校の教育方法を他校に情報共有するだけでよいのか。  
[学校教育課長] ご指摘のとおり、国語科において、小・中学校ともに問題様式が記述式の場合の正答率が低い。小学校においては、漢字を文の中で正しく使うという問題で、3問中2問が平均正答率を下回っている。

教科の用語を用いて学習のまとめを書く機会を多く設定することや、辞書を丹念に使うことで調べる力をつけること、漢字の読みや意味・例文や熟語を確認することなど、調べたことを書き留めて文書作りの中に生かす学習上のトレーニングが必要である。

[尾畑委員]

昔はわら半紙を折りたたんで間違えた箇所を何度も書くという方法だった。そうではなくて、課題に対して文章を書かせるという形で書く力を向上させるように手法を変えていくということか。

[学校教育課長]

書く作業となると、授業の中で板書をひたすら書き写すということに陥りがちなところがあるが、単語一つ一つを捉えて書くのではなく、単語が繋がったセンテンスとなったときの意味を捉えてもらい、自分のノートに書いてもらっている。文面と文の成す内容が繋がった学習の支援が必要であると考えている。

[若林委員]

文章を書く力は読書量の問題が大きく関わってくる。昔はよく学校で作文を書かされたが、考えてすぐに書くように指示されても大人でもなかなか書くことはできない。そのため繰り返しの訓練や、地道な積み重ねが必要であると考えている。具体的な解決方法をわかりやすく検討し、数値的に考えて対応しなければならないのではないかと。昔は原始的に「読み・書き・そろばん」とよく言われていたが、そのような具体的な解決策を検討していく必要があると考えている。

[教育長]

読解力や文章を書く力について、国語の文章を読んで感想を書くことや、何かの事象について自分の考えを書くことは行われている。しかし、それがしっかりと定着するまで行われているかという問題や、その時間が取れるのかといった問題はある。特に最近言われているのが、かつてのテストでは答えを一つだけ記入し丸をもらうというワークシートでの学習がよく行われていたが、そればかりを繰り返していたら、文章で自分の考えを伝えることが身につかないということである。ワークシートにも目的や意義はあるが、それだけを日常で行っているとそのような力を身につけることができない。そのため、授業では小論文のように自分の考えを数行で書いたり、友達同士で自分の考えを伝え合うという時間を確保することが大切である。「読み・書き・そろばん」といったことをないがしろにするのではなく、それだけでは足りないところを補っていく必要があることが、調査で見えてきたところである。ご指摘のところを、しっかりと校長会等で伝えていきたい。

[若林委員]

目指しているところは間違っていないが、それを達成するための手段として、地道なことを積み重ねる必要がある。家庭学習が少な

いとあるが、家に帰ってから読書はしているのか、ゲームをしているのかがわからないため、それは問題であり危惧しているところである。例えば、新入社員の選考をするときには、課題として作文を書かせているが、昔と比較してその水準が下がっているように思われる。その辺りの手当をきちんとした方がいいのではないかと最近感じている。目指しているところはいいが、やり方として、目標に対して結果を早く求めすぎていると思われるため、もっと地道な反復練習も必要なのではないか。

#### 【その他 17】

- [教育長] その他 17 について事務局から説明を求める。  
[学校再編推進課長] (その他 17 について説明)  
[教育長] ただ今の件について、質問等あるか。  
[各委員] 質問等なし。

#### 【その他 18】

- [教育長] その他 18 について事務局から説明を求める。  
[大沢野教育行政センター所長] (その他 18 について説明)  
[教育長] ただ今の件について、質問等あるか。  
[各委員] 質問等なし。

#### 【その他 19、20】

- [教育長] その他 19、20 について事務局から説明を求める。  
[郷土博物館長] (その他 19、20 について説明)  
[教育長] ただ今の件について、質問等あるか。  
[各委員] 質問等なし。

- [教育長] 以上をもって公開案件に係る議事は終了したが、その他、質問等あるか。

[各委員] 質問等なし。

[教育長] 非公開案件に移る。傍聴、マスコミの方はご退席願う。

### 《以下、非公開事項のため概要のみを記載する》

[教育長] (議案第42号について事務局から説明を求める。)

[図書館長] (議案第42号について説明)

[教育長] (議案第42号についての採決について、各委員に諮る。)

[各委員] (議案第42号について同意する。)

[教育長] (議案第42号について、原案のとおり可決したことを報告する。)

[教育長] (報告事項28について事務局から説明を求める。)

[学校再編推進課長] (報告事項28について説明)

### 【閉会】

[教育長] 閉会を宣言する。